



丹後峰山の
こんぴらさん

平成二十六年
祭行事のご案内

初詣

大晦日より終夜参拝
三ヶ日 御神酒 授与
正月縁起物多数

※元日午前零時より、
峰翔会(こんぴらさん応援団)が
「甘酒」の無料接待を
ご奉仕いたします。

一月十四日(火)午前七時～
焼納祭(どんと焼)

二月二日(日)十一時
節分 還暦初老祈願祭
地域にかかわらず
多数お申し込み下さいませ。

四月九・十日(水・木)
春季大祭 吉例「宝籤」開催

「お伊勢さん 初まいり」
伊勢参宮旅行 参加者募集中
二月十三日～十四日(木・金)
参加費一人二、〇〇〇円



第六十二回 神宮式年遷宮

丹後親子で楽しむ こども論語塾

日時 2月2日(日) 午前9時30分～
講師 青木順子(あおきよりこ)先生
参加料 子ども 300円 大人 500円
2ヶ月に1度日曜日に開催予定です。
お子様だけでも大人だけでも、どなたでもご参加いただけます。



初穂料 各500円
好評お授け中



出展者 募集集中!!
神社の屋内でお食事や飲物を
【1day cafe】
手づくり体験ができる
【手づくり体験コーナー】開催中!
第3日曜日 【開催日】 12月15日
10:00～15:00 3月16日 4月20日
1月2月はお休みです
<http://konte1.com>

金月比羅神社
〒617-0001 宮司 脇 阪卓爾
京丹後市峰山町泉二六五一
電話 〇七七二・一八二・〇二二五
FAX 〇七七二・一八二・五九九三
mail info@konpirasan.com
http://www.konpirasan.com

平成26年の厄年(数え年)

平成8年生	19歳	女子厄年
平成元年生	25歳	男女
昭和57年生	33歳	女子大厄
昭和53年生	37歳	男女
昭和48年生	42歳	大厄初老
昭和29年生	61歳	還暦

新年祈願 承り中

家内安全 心身健勝
商売繁盛 会社隆昌
男女厄年 開運厄除
合格祈願 学業成就
海上安全 大漁満足

境内に座る 狛犬たち

神社で神前に座り参拝者を見護るのが狛犬ですが、当社には二対の石狐・石猫（狛猫）も含め総てで十一対とたいへん多くが座っています。



神門前 最古の狛犬

最も古いものが神門前の文政二年（一八一九）、次いで粟島神社前の文政八年（一八二四）、狛猫の阿形が天保三年（一八三二）に奉納されています。

粟島神社前の狛犬、木島神社の狛猫は江戸時代石工の長谷川松助（安永八年一七七九生）の手によるものです。松助は京都で修行し大阪で開業の後丹後鱒留村の郷へ帰り、丹後一円に数多くの石造物を残しました。当社の大鳥居を文政六年（一八二二）に手掛け狛猫奉納の翌天保四年に平地地藏（大宮町常吉）を遺しています。



粟島神社前 石工松助作



稲荷神社前 石狐

さすがに名を馳せた石工の作で粟島神社前の狛犬は他とは造りが異なり彫刻品としてもたいへん素晴らしい出来の作品と解ります。

秋葉神社前のものは風化が進み一見何があるのか解らないほどです。年代なども不明ですが、粟島神社のものに酷似しており、この頃のものと思われる。

後ろ足立ちでの独特な姿勢は全国的にはあまり例がないようですが、丹後では多く見られます。

石段を登り切ったところに二組が、二の鳥居前には三組もが居並び、明治から昭和にかけて奉納されたものです。凝灰岩という砂質の柔らかい石で出来たものが多く風化損傷が進み阿形の下あごが欠けてしまったものもあります。

元来は向かって右の阿形が「獅子」、左の吽形で頭に一角があるのが「狛犬」ですが、今では対で狛犬と呼ばれるようになっていきます。

因みに当社松助作の狛犬と狛猫は阿吽が左右逆になっています。



二の鳥居前 顎が欠落



秋葉神社前 判別不明

また目にする機会が少ないですが、本殿の中には木造のものも納められていることが多くあります。

威嚇するかのような恐ろしい形相は神様をお護りする為ですが、神社参りの際参道を進んで狛犬に会うと思わず気が引き締まります。参拝の前に手水で身を清めるのと同様、狛犬に睨んでもらって気を引き締めることもお清めの一つになるのです。

百年前の石 段

当神社を象徴するもののひとつが明治四十四年の御鎮座百年祭に設置された一八〇段もの石段です。

石段の両側に連なる芳名碑は百年祭の寄付者と昭和二年の北大震災復興の寄付者芳名が入り交じって並んでいて、同姓名

のものが複数有るのはそのためです。

きれいに大ききの揃えられた御影石を人力のみで設置した匠人の業と労苦は想像も出来ませんが、北大震災もほぼ無傷で乗り越えた見事な匠技によって百年間参拝の道を守っています。



「百年祭」

「明治四十四年十月」

震災時の石段最上部より



文化八年奉納の刻印



渡辺但見奉納 水盤

文化八年（一八一）創建当年に奉納された水盤（手水鉢）が石段上の一角にひっそりと遺されています。

創建時の水 盤

石造物は創建以来各年代の物が遺されていますが、創建当年の物は珍しく貴重です。

奉納したのは当時峯山藩の番頭を務めた渡辺但見です。渡辺但見は当社御遷宮の際藩主京極高備公の名代として讃岐の本社まで赴き、御分霊を峯山まで運ぶ大役を果たしたその人です。

水盤に刻まれた銘には「奉納 渡邊但見源俊猛 敬白」「文化八辛未歳 六月吉祥日」とだけありますが、藩の番頭として金刀比羅宮勧請に奔走する姿が偲ばれ、その信仰心の深さが伝わってきます。

場所は拝殿前広庭で「百度石」のある参道を挟んだ向かい側です。ちなみに百度石も文政元年（一八一八）から現在まで所願の数多くを見守っています。



拝殿前の百度石